

社協だより

# 福祉とさちよう



NO. 105

令和2年7月発行



花を栽培されている高須の澤田順一さんご夫婦から「地域のために！」とお花をたくさんご寄附いただき、社協職員が声掛け訪問した際に各戸にお届けしました。「まあきれいねえ！嬉しい」と笑顔の花が咲きました。

土佐町社会福祉協議会・ボランティアセンター

〒781-3401

土佐町土居 206 保健福祉センター内  
82-1067 82-1069 (FAX)

e-mail [tosasameura@shirt.ocn.ne.jp](mailto:tosasameura@shirt.ocn.ne.jp)

社協 facebook はこちらから→





# 令和元年度 事業報告

## 法人運営部

平成から令和の時代を迎え、国では地域共生社会の実現に向けて地域福祉の推進における社協の役割を重視しています。令和元年度は、土佐町の第3期地域福祉計画と並行し第6次地域福祉活動計画並びに社協強化地域支援計画を策定し、さらに災害事故等に関する行動計画の見直しも進めてきました。これらの計画を推進するには、しっかりとした業務管理や連携体制等組織全体の強化を図らなければなりません。「いざという時に役に立つ社協」として役割を果たせる体制づくりが課題として見えてまいりました。

コロナウイルス感染拡大を予防するため、職務における対応及びサービス利用者や地域活動への感染予防啓発を実施しました。税務調査、訪問介護事業所への指導監査等により、コンプライアンスにおける改善点も明らかとなり改善に向けて努力し、本年は衛生推進者や第三者委員を委嘱することができました。

また、労働基準局・会計士・社会保険労務士等の専門的な指導を受けるよう努め、働き方改革関連法案に基づく年次有給休暇の取得や、検診料の基本額補助など面談を通じながら職員の意見を取り入れ、職場の改善に努めてきました。また、人員確保にも努め、社会福祉士の増員ができ、今後は包括支援センターとの連携による支援体制を強化していきます。



## 在宅福祉部

訪問介護員を募集し、サービス提供責任者等配置基準を満たすように努力してまいりました。サービスを確保するという観点から、事業所の存続をめざして改善を図っているものの、引き続き訪問介護員の確保や安定的な経営に向けて努力が必要です。

また、生活支援・介護予防連絡会の実施、地域・在宅福祉部・地域包括支援センターとの連携により、ニーズの把握から支援にいたるまでの流れが円滑になってきました。他の制度を利用してもなお、「生きづらさ」を抱えている方々への対応も含め、個別支援にも益々力を注いでいくことが必要となっています。その一つのツールとして社会参加応援事業による支援が始まり、制度の間にある方々の支援が一歩前進しました。さらに、教育支援センターの在り方検討会において、学校、社協、地域の連携による子どもたちの支援体制について協議がなされ、今後は社協としても子どもたちや保護者に向けた支援についても協働していく必要があります。

今後は、コロナウイルス感染拡大に伴う相談が増えていくことが予想されることから、細やかな相談に努め、県社協・中央東福祉保健所等と連携して伴走的な支援を行っていくことが重要となりました。



## 地域福祉部

地域における懇談会を重ね、第6次地域福祉活動計画を策定しました。第5次ではあったかふれあいセンターを拠点としたコミュニティ再生のかたちが整い、一定の成果が見え始めました。近年、地域力が低下する中で、主体的な活動にむけた支援の幅は年々広がっている状況にあり、第6次では、一層の地域活動支援が必要となります。ボランティアセンターも教育委員会との連携により、学生のボランティア活動支援も行うこととなり、また、手話ボランティアなど多世代にわたるセンターとの関わりを重視してきました。

今後は、教育委員会と学校との連携を見直し福祉教育の推進を今一度見直す時期となっています。

コロナウイルス感染防止対策に伴い、「集う」という機能が果たせなくなり、支え合う力が低下した地域には大きな打撃となりました。社協では遠距離の家族の支援が低下することを予想し、3月から訪問活動を実施して、聞き取り調査を実施するなど、生活課題等の状況把握に努めました。また、マスクの縫製ボランティアを募るなど地域のつながりを絶やさない取り組みも進めてきました。

令和2年度は、町が策定した地域福祉計画や避難行動要支援者の計画に伴い、地域における支援や話し合いに向けて防災と地域福祉事業を連携して推進することが重要となります。





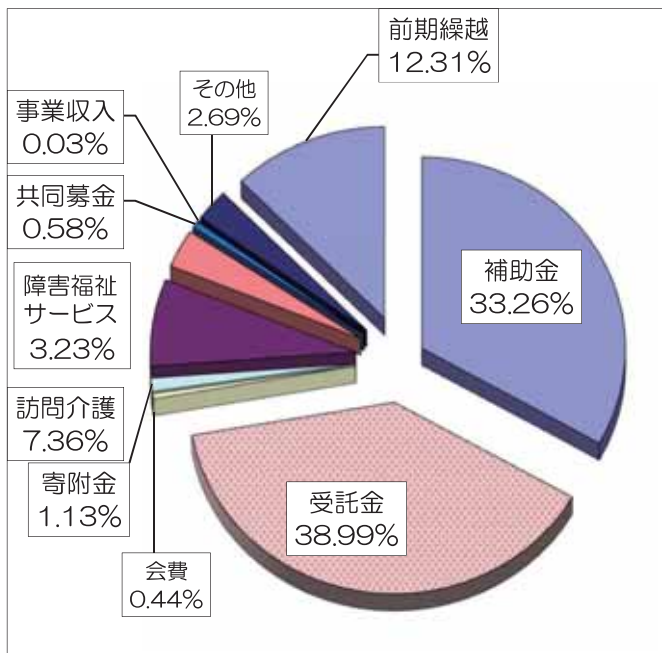
# 収 支 報 告



## 収入の部

合計金額

92,243 千円

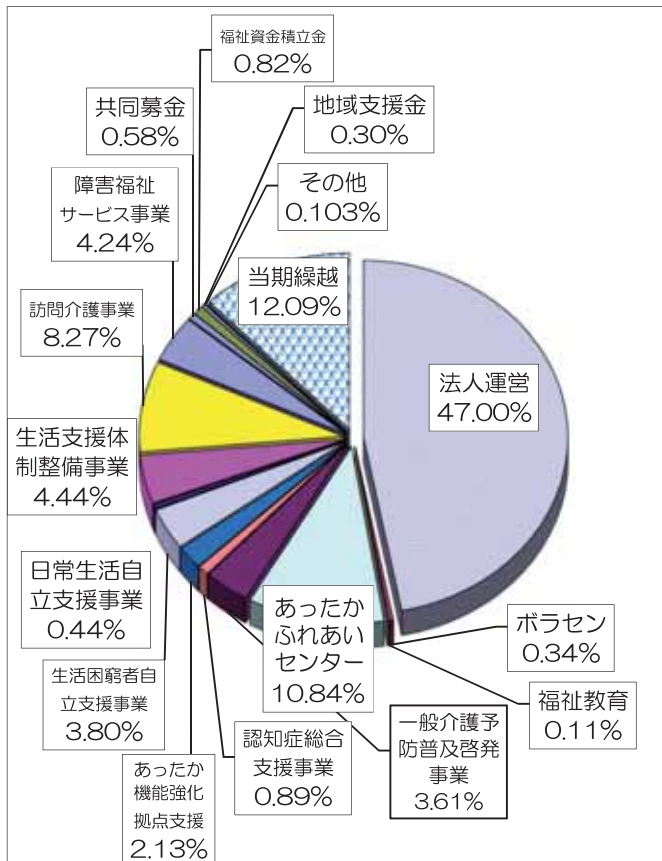


補助金	30,677 千円
受託金	35,965 千円
会費	407 千円
寄附金	1,040 千円
介護報酬等	6,785 千円
障害福祉サービス	2,978 千円
共同募金	535 千円
事業収入	24 千円
その他	2,480 千円
前期繰越金	11,352 千円

## 支出の部

合計金額

92,243 千円



法人運営費	43,353 千円
ボランティアセンター	313 千円
福祉教育	100 千円
あったかふれあいセンター	10,000 千円
一般介護予防普及啓発事業	3,330 千円
認知症総合支援事業	821 千円
あったかふれあいセンター(機能強化/拠点支援)	1,964 千円
生活困窮者自立支援事業	3,509 千円
日常生活自立支援事業	406 千円
生活支援体制整備事業	4,098 千円
訪問介護事業	7,624 千円
障害福祉サービス事業	3,908 千円
共同募金	535 千円
福祉資金積立	759 千円
地域支援金	275 千円
その他	95 千円
当期繰越金	11,153 千円



### 実施事業

福祉教育・ボランティアセンター事業・一般介護予防普及啓発事業・認知症総合支援事業  
 訪問介護事業（介護保険・自立生活支援・日常生活支援総合事業）  
 障害福祉サービス事業・相談支援事業（障害者・児）・生活困窮者自立支援事業  
 日常生活自立支援事業・あったかふれあいセンター事業・生活支援体制整備事業  
 あったかふれあいセンター機能強化・拠点支援事業・老人給食・地域の集い活動支援  
 社会福祉大会・心配ごと相談所・総合相談窓口・広報活動・団体事務局・その他福祉事業

※ 事業報告書・決算報告書等は社協事務所にてご覧いただけます



# 地域福祉活動計画

## 第5次計画期間満了！

第5次地域福祉活動計画（平成27～31年度）は、旧小学校区10か所を地域の単位とし、各地域で活動目標を策定して、計画の推進に取り組んできました。

本計画期間には、「和田を元気にする会」や「松ヶ丘コミュニティセンター運営委員会」「相川ららら」など各地域で様々な活動組織が立ち上がり、活動目標の達成にむけ継続的な取り組みが具体的に展開されました。

### ご寄附を活用

地域での活動の支援策の一つとして、第5次計画より設置した「地域福祉活動支援金」は、地域の皆様からの社協へのご寄附の一部を財源としています。

5年間で、8小学校区12団体から申請があり、合計2,075,000円が地域福祉活動に活用され継続的な活動へつながりました。

地域の皆様からいただいたご寄附は様々な地域福祉活動に役立てられています。ありがとうございます。



イベント、掃除、お祭、交流・・・、第5次計画期間中、各地域で様々な活動が展開されました。

認知度

76%

社協は計画の推進、地域活動の促進を図ってきました。第4次計画終了時にあった、大きな課題の一つに、「地域福祉活動計画」の認知度の低さがありました。この課題をクリアすべく、第5次計画期間において、広報の強化・地域への活動の周知、毎年推進懇談会を開催し、活動の進捗状況を住民と確認する機会をつくるなど取り組んできました。認知度の向上に努めてきた結果、地区長様にご協力いただき無作為に配布いただいた第6次計画策定の事前アンケートでは、「知っている」・「聞いたことがある」を選択した方が合わせて76%あり、活動計画の認知度も大きく前進しました。



この計画は、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、みんなでできる事を“力を合わせて”取り組んでゆき、住民が主体となって活動する計画です。



# 第6次計画策定!!!

第5次計画の期間満了に伴い、各地域で第5次計画の振り返りを行い、策定懇談会を経て第6次計画が策定されました。

策定懇談会では、事前アンケートで地域生活課題や地域の将来像などについてまとめたものを参考に、それぞれの地域で今後5年間取り組む活動目標を話し合いました。



## 各地域の活動目標

旧小学校区	活動目標
石原	・みんなで「安心して暮らせる石原」について話し合おう
地藏寺	・地域の防災を考えよう ・買い物・通院などの手段を考えよう ・子育て世代も含めて、地域の見守りを進めよう
平石	・防災をすすめよう ・地域(3地区)の維持にむけた話し合いをしよう
森	・防災意識・関心を高めていこう ・活動計画の実行部隊をつくろう
相川	・地域で人が集まる機会を続けていこう
和田	・「和田を元気にする会」を中心に皆で話し合い、和田の地域づくりを具体化させていこう
田井	・地域住民のつながりを高めていこう
瀬戸	・地域の住む人同士が見守り助け合い、できる限り今の生活を維持していこう
南川	・百万遍や神祭を続けていこう ・人が暮らし続けられる南川地域を残していこう ・南川の歴史を残していこう
松ヶ丘	・集落活動センターを立ち上げ、皆で元気な松ヶ丘を作っていこう

# あったか ニュース



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一時休止していた集いが、6月に再開となりました。引き続き感染予防対策を行いながら、地域の方が安心して集える場づくりを目指していきたいと思っております。集いのない期間は、社協職員が皆さんのお宅に訪問させていただき、日頃の生活の様子を聞くなど、お元気に過ごされている姿を見て安心しました。

## 和田



気温が30度近い暑い一日でしたが、「まちわびちゃった!」「ひとりじゃあ、体操せんさね」と笑顔でみなさん集合。

つぎはなにしよう

いち、に、さん、し



当日、「久しぶりに体育館使うき、掃除大変かな〜?」と早めに旧和田小学校へ向かいましたが、集いの始まる前の日に、地域の方が掃除をしてくれました。おかげさまで、ゆっくりと集いの時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

コロナに負けるな!  
オー!!



皆の元気な顔を見る  
だけで元気になれる♪

## 南川



約3ヶ月ぶりの集い日となりました。今日の日を備えて髪を染めたり切ったり洋服を買ったりと…皆さん、お洒落にも気合が入っていました♪南川会館のトイレも改装され、使用しやすくなりました。皆さん、遊びに来てくださいねえ〜。

**‘コロナ給付金サギに注意、**

社協職員と地域安全アドバイザーが啓発活動として、地域をまわり訪問しています。皆さん、何か困ったことがあれば、気軽に相談してくださいね。

高知東警察署内  
電話 (088) 866-0110

地域安全アドバイザー

一色 峰子







# ボランティアセンター



## お花・手作りマスク・マスク用布をいただきました

新型コロナウイルスの影響で困り事がないかなど、伺うため、職員がお宅へ訪問活動する際、地域の方々からいただいた、手作りマスクや、お花を配布させていただきました。

お花を寄附して下さったのは澤田順一さんご夫婦。「なにか役立つ事があるろうか…」と、きれいなアネモネとキンギョソウをたくさんいただきました。

マスク用の布や手作りマスクは35名の地域の方々から、約500枚のマスクをいただき、小学校や児童館、ポップ広場や高齢者のお宅等に配布させていただきました。

地域の方々からは「すごくありがたいです〜」「気持ちがいい」などの嬉しい声をたくさんいただきました。ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました。



## 土佐町小中学生がお礼のメッセージを届けてくれました

土佐町小学校から「マスクを縫っていただける方は、いませんか?」と相談があり、呼びかけたところ、たくさんの方の協力によって237枚のマスクを作り学校に届けることが出来ました。6月25日には代表の小中学生がお礼のメッセージを届けてくれました。

～メッセージご紹介～

「たくさんのマスクをありがとうございました。おかげでマスクをしている人が多くなりました。私も毎日欠かさずマスクをして予防しています。」



※メッセージは土佐町保健福祉センター1Fに掲示しています

## 令和2年度サポーター養成講座 からだまるごと健康教室開催

効果的な運動の方法を教えます。  
楽しくて、ためになる教室です。

【開催日】令和2年7月30日(木)

【時間】13:30~14:30

【場所】あじさいホール

【講師】健康運動指導士 前田 郁さん

※飲み物をご持参ください

参加費  
無料



## 傾聴ボランティア養成講座 傾聴の基本を学ぶ

基本的な知識や技術を学ぶことで、家族や地域、職場で活かすことができます。

【開催日】令和2年10月17日(土)

【時間】10:00~12:00

【場所】土佐町立図書館横

多目的ホール(田井)

【講師】傾聴ボランティア高知とんぼの会  
山本美知子さん

# 土佐町の皆さんに聞いてみました！



南泉のあいちゃん

①毎日近所の友達と散歩をしたり、家の中で歌を歌っています。家庭科の先生をしていたこともあり、普段からパッチワークをするのが好きで、白いマスクにチューリップと人形のパッチワークをしてみました。

②変化は友達との食事を控えるようになったことです。また、楽しみにしていた「とんからりんの家」に行けなくなったことが寂しいです。



近藤さん：

①保育園をお休みしていたので3兄弟がパワー全開で大変でした。

②変化はお兄ちゃん達がきちんと手洗いをするようになりました。

③しばらく美容院も行ってないので美容院に行きたいし、旅行も行きたいです。

筒井さん：

①小学生のお兄ちゃんたちが大活躍。妹のお世話や家事のお手伝いをしてくれ助かりました。

②③変化はあまりありませんが、家族で旅行へ行きたいです。



ポップ広場参加者の近藤さん(写真左)  
筒井さん(写真右)



土佐町中学生

①自宅で部活の練習をしたり、本を読んだり、料理にチャレンジしたりして過ごしていました。お家時間を楽しんだ人もいれば、姉妹げんかが増えて、大変だったという生徒もいました。

②給食の時間が大きく変わりました。教室でみんなが前をむいて食べるようになり少し寂しいです。

③休校が長かったので勉強に焦りを感じています！がんばらなくっちゃ!!



# 私のステイホーム 期間中の様子

- ①日中の過ごし方
- ②気持ちの変化
- ③改めて感じたことや新しく始めたこと



道の駅土佐さめうら 駅長の和田さん

- ①道の駅は1ヶ月弱お休みだったので、その間は、新商品の開発に励んでいました。秋までのイベントがすべて中止になったこともあり、売り上げが下がっています。状況を見ながら、小さいイベントから始めていきたいと思っています。
- ③いくつか企画も立てています。あかうしコロッケ、駅弁の日、オリジナルTシャツ…乞うご期待ください！

①地蔵寺・石原・平石・瀬戸・黒丸地域の高齢者の自宅を訪問して回りました。その際に、きちんとマスクをしてソーシャルディスタンスを保ちながら会話することを心掛けました。マスクをする事で熱中症になるリスクが高まるので水分補給の呼びかけをしました。また、コロナによって家にいることが多いのでそれに便乗した訪問販売や特別定額給付金の詐欺が増えているので気を付けましょう。みなさんも、「コロナに便乗した詐欺かな?」と感じたら110番にご相談ください。



地蔵寺駐在所の吉本さん



土佐町社協 山首局長

- ①家に花を飾ったり、県外の友達とリモート飲み会をしたり、緊急事態宣言解除後はアウトドア商品をそろえ、土佐町をドライブしました。
- ②変化は息子夫婦や孫に会えなくなったことです。
- ③今までは地域の人を集めて意見交換ができていましたが、集まりができにくくなり、これまでのやり方では、地域での支え合いや見守りが難しくなってきました。そのため、新たな支え合いのカタチを社協と住民と共に考えなければいけないなと感じています。

# 生活福祉資金 特例貸付のご案内

今回の特例措置では新たに、償還時において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還を免除することができることとしています。

借入申込みにあたっては、申請される方とその世帯員について現在の状態が確認できる書類が必要です。  
なお、生活保護受給者や債務整理中の方、暴力団員が属する世帯は対象となりません。



## 緊急小口資金 (一時的な資金が必要な方)

- 貸付対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯
  - 貸付上限額  
原則として、一世帯につき一回限り10万円以内  
但し、次の(1)～(6)など特に必要と認められる場合は、一世帯につき一回限り20万円以内
    - (1) 世帯員の中に新型コロナウイルス感染症の罹患者等がいるとき
    - (2) 世帯員に要介護者がいるとき
    - (3) 世帯員が4人以上いるとき
    - (4) 世帯員に①または②の子の世話をを行うことが必要となった労働者がいるとき
      - ①新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、臨時休業した小学校等に通う子
      - ②風邪症状など新型コロナウイルスに感染したおそれのある、小学校等に通う子
    - (5) 世帯員の中に個人事業主等がいること等のため、収入減少により生活に要する費用が不足するとき
    - (6) (1) から (5) までに掲げるもののほか、特に資金の貸付需要があると認められるとき
  - 据置期間 貸付の日から1年以内
  - 償還期限 据置期間終了後2年以内
  - 貸付利子 無利子 ●連帯保証人 不要
- ※緊急小口資金については、高知県内の労働金庫、取扱郵便局でも申込が可能です。

## 総合支援資金 (生活支援費) (生活の立て直しが必要な方)

- 貸付対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
- 貸付上限額 (二人以上) 月20万円以内・(単身) 月15万円以内
- 貸付期間 原則3月以内
- 据置期間 貸付の日から1年以内
- 償還期限 据置期間終了後10年以内
- 貸付利子 無利子 ●連帯保証人 不要



実施主体：社会福祉法人高知県社会福祉協議会 (福祉資金課)

ご相談・申込窓口は土佐町社協が承ります。お気軽にお越しください。



# ひよこぐみ写真館

しまさき はやと  
中島 島崎 隼士くん

76号

平成29年9月18日生まれ

パパ 祐企さん  
ママ 望さん

お兄ちゃん  
みなと  
湊士くん

お兄ちゃん  
あきと  
煌士くん

にいに大好き！！  
三兄弟仲良く  
大きくなってね。



はやと  
隼士くん

にしたに わこ  
高須 西谷 和呼ちゃん

平成29年7月15日生まれ

パパ 紅葉さん  
ママ 怜美さん

いつも笑顔をありがとう。  
日々成長する姿が  
とても心強いです。  
これからもよろしくね。



わこ  
和呼ちゃん

～ひよこぐみ写真館 募集中です～

詳しくは 土佐町社協 (82-1067) へ  
お問い合わせください！

# 社協への福祉のご寄附

自：R2. 4. 1

至：R2. 6. 30

地区名	氏名	金額	備考
	土佐酒造株式会社様	高濃度エタノール 300ml×6本	
南境	和田 啓様	100,000	香典返し
田井	高井 安司様	100,000	香典返し
上地蔵寺	川田 國男様	50,000	香典返し
大谷	曾我部 正法様	100,000	香典返し
	瀬戸川・地蔵寺川を守る会様	31,933	事業資金

以上の方々からあたたかいご寄附をいただきました。ありがとうございました。



## 日本赤十字社 土佐町分区

赤十字活動資金の募集にご協力いただきありがとうございました！

コロナ禍で大変な中、地域の皆様をはじめ、多くの企業・事業所の方々にご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

皆様からご協力いただきました、545,390円（6月末現在）の活動資金を高知県支部に全額送金いたしました。

日本赤十字社は、全国の赤十字病院を中心に新型コロナウイルス感染症の治療および感染拡大防止のための活動に取り組んでいます。土佐町への交付金は、災害に関する研修、防災用品の購入や防災訓練等の地域活動に活用されています。

今後ともご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社土佐町分区長 和田 守也



苦しんでいる人びとを救うための費用  
214億9875万4千円



国内外における救護活動



防災活動



ボランティアの育成



新型コロナウイルス感染症 対応実施中

※日本赤十字社公式ホームページより一部抜粋



## 令和2年度 社協会費協力のお願い

住民の皆様と共に「ここにおいてよかった」と言えるまちづくりをめざし、役職員一丸となって福祉事業に取り組んでいます。福祉教育や社協運営に活用する為の資金として、皆様のご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

## お詫びと訂正



細川博之

令和2年4月発行No104 民生・児童委員の担当地域に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

正：伊勢川・上野上